

## 大学創生エンジン 2014「大学の諸課題をみんなで考える ～公立大学を素材にして～」

【日時】平成26年11月29日(土)13:30～18:00(引き続き, 交流会)

【場所】東海大学高輪キャンパス(東京都港区高輪2-3-23) 4号館 4304 教室

[http://www.u-tokai.ac.jp/info/traffic\\_map/shared/pdf/takanawa\\_campus.pdf](http://www.u-tokai.ac.jp/info/traffic_map/shared/pdf/takanawa_campus.pdf)

【主催】大学マネジメント研究会大学創生エンジン 2014 実行委員会

【共催】東海大学

【対象】国公立大学の職員

13:00	受付(東海大学高輪キャンパス4号館・4304 教室前)
13:30	開会
13:50	検討前の現状把握「公立大学って意外に・・・？」
14:20	課題別セッション(4テーマを全員が聴く。参加者数を見て、時間設定) ①地域の課題とどう向き合うか      ②職員問題 ③組織のモチベーション              ④入試と就職
16:30	全体セッション「公立大学からニッポンの大学を考える」
17:30	まとめ・閉会
18:00	交流会(20:00 までに)

### 【趣旨】

大学創生エンジンというイベントが目指すところは、行動できる大学職員の育成です。個人の努力で解が見つからない問題であっても、同じ志を持った仲間が存在を知り、価値観の共有、競争と協調、そして新たな創造へと向かう濃密な時間を共に過ごす体験を通じて、ここを行動の出発点とすることができると思います。このため、当日は、参加者各自が、同じ志を持つ仲間たちとの短時間での鍛錬を通じて、それぞれの行動指針を確立することを目的とします。

今回は、『大学の諸課題をみんなで考える ～公立大学を素材にして～』をテーマに設定しました。少子化が進み、縮退社会と言われる日本や日本の地方都市は、取組の先進性に着目し、「課題先進地域」として世界からも注目されています。公立大学では、そのような問題と日常的に向き合う点において、国立・私立大学より様々な問題が顕著になっている印象があります。また、設置団体との関係が密接な分、国立大学以上に運営が難しく、私立大学以上に顧客を意識した運営が求められるため、公立大学の課題と向き合い、解決の糸口を探る過程は、**国公立大学職員に共通する優れた実践的学習と鍛錬の場**になると思われます。このように、公立大学を素材として大学の諸課題を考えるこのセッションは、公立大学職員のみを対象としたセッションではなく、国立・私立職員を含む「大学人」全体を対象とした、とても有意義で示唆に富んだ意見交換の場になると考えます。大学で働く者が今一度、「大学人」として働くことを認識する場として、本会が位置づけられれば幸いです。

【内容】・グループワークを通じて、一つの課題を多方面からアプローチし、最善解を導きます。

・一つの課題に対し短時間で最善解を導き出すには、問題認識の分かち合いから、共創を経て、発想の転換まで、持てる力をフルに動員することが求められます。

・「知らぬこと」を恥じる必要はなく、積極的に対話に参画する意欲と好奇心を求めます。

### 【話題提供者】

尚絅学院大学 佐藤 司 テーマ「①地域の課題とどう向き合うか」 地方私立大学の視点から等  
岩手県立大学 藤根卓也 テーマ「②職員問題」 プロパー問題、頻繁な異動、煩雑なマニュアル等  
首都大学東京 宮林常崇 テーマ「③組織のモチベーション」 設置者との関係、制度上の課題等  
公立大学協会 齊藤亜由美 テーマ「④入試と就職」 地元の人材養成、入試・就職の現実と課題等  
企画参加協力 高谷美穂(滋賀県立大学)

【参加者】国公立大学及び関係団体の大学職員 50名 ※カジュアルな服装でご参加ください。

【参加費】会員 1,000 円(JUAM 会員を含む) 一般 2,000 円

※交流会参加者は 3,000 円を加算した参加費を、受付の際にお支払ください。

【申込み】大学マネジメント研究会ウェブサイトの入力フォームからお申し込みください。

【申込期限】11月14日(金)17:00まで受付